



## 第Ⅶ章 文献調査

### 1. 田原坂の戦いの状況

熊本城救援を急ぐ政府軍が、南関、高瀬から熊本城を目指すには主要道が3本ある。1本が吉次峠を通る吉次往還、1本は山鹿口の豊前街道本道、もう一つが田原坂を通る豊前街道高瀬道（三池往還）である。田原坂越えは、吉次峠越えに比べて高低差が少なく道幅も広いので、多くの兵員や食料などを運ぶには最適のルートであった。高瀬の戦いで、攻守が逆転した薩摩軍はこの守るに易く、攻めるに難い緊要の地の田原坂に拠って、政府軍の南下を阻止しようとして17日間にわたる激戦が繰り広げられた。

この戦いの状況は様々な文献に記載がある。これらを基に戦闘の概要を記した後、「田原坂戦記」『征西戦記稿』と「第五大区九小区各村戦地景況輯録豊岡村」『歴史のはざまに』を引用、翻刻し、戦いの具体像を明らかにする。その後、両軍の豊岡台地などにおける戦いを日付毎に対比して示し、戦死者数によって戦闘規模と場所を推定する。引用等に当たっては適宜改行し、( )で註を加えるなどした。

#### a. 戦闘の概要

3月4日 曇午後雨 政府軍第1次総攻撃。田原坂本道北側の岡林や谷、南側の水本、舟底などで激戦、正面攻撃失敗。右翼隊二俣に進出占領。吉次峠、山鹿口でも大激戦。

5日 雨 政府軍は木葉本営で6日よりの攻撃部署協議、戦法を変じ薩摩軍左翼を突くために一隊を編制。薩摩軍は中久保から谷を隔てて砲戦。一部は迎原に集合、北方平原村、鈴麦村の政府軍に備える。

6日 晴 政府軍第2次総攻撃。吉次峠攻撃中止。政府軍は目標を田原坂が通る豊岡台地に集中する。左翼（熊野座神社方面）、正面（境木口・田原坂本道方面）、右翼（二俣口、中久保、立花木方面）から攻撃、砲戦したが不成功。狙撃隊を組み、薩摩軍抜刀隊に備えた。

7日 晴 政府軍第3次総攻撃。増員。主攻方向を右翼に変更。狙撃隊と砲兵隊の支援を受け中久保、立花木、七本、轟などの豊岡台地南部の薩摩軍陣地を奪取したが、反撃により台地下に後退。

8日 晴 政府軍は昨日の部署で攻撃したが進展せず。多くの将校が薩摩軍に狙撃された。本道北方の北平や宮ノ前で戦闘、宮山（熊野座神社付近）争奪戦。本村熊野座神社兵火。

9日 雨 政府軍は従前の部署で攻撃。横平山の重要性が判明し、この後、横平山の争奪戦が連日行われる。二俣と中久保で谷越えの砲戦（～10日）、政府軍砲壘に薩摩軍抜刀攻撃。

10日 午後雨 休戦。連日の戦闘で疲労が甚だしいため。

11日 快晴 政府軍第4次総攻撃。横平山、二俣口、田原坂本道の三正面に攻撃。二俣正面の中久保、立花木方面は砲8門で攻撃したが効果は薄い。政府軍兵員の損耗が大きく、後続部隊要請打電。

12日 曇晴 政府軍田原坂本道、二俣口で砲撃。進撃せず、守戦内にて交戦し、ほぼ休戦状態。二俣方面で陣地数箇所を薩摩軍が奪う。薩摩軍の古閑山（長窪山）塁は高く堅固で政府軍抜けず撤退。薩摩軍は砲撃激しい中久保を棄て、宿に陣営を移す。山鹿口第3次戦。

13日 雨 昨日に続き、田原坂本道、二俣口、横平山方面の砲戦、進撃せず守戦内警備。薩摩軍も進まず。政府軍は警視隊から百名を選び抜刀隊を編成。薩摩軍も貴島隊など援軍が熊本に到着。

14日 晴 政府軍の警視抜刀隊初陣、この日以降活躍。二俣口の中久保、立花木方面にて開戦以来最大の激戦。二俣正面より砲隊の支援射撃を受け抜刀隊を加えて、七本柿木台場一帯の薩摩軍陣地を攻撃し、一時陣地を奪取したが反撃され、後続部隊がなく撤退。田原坂本道方面の戦闘続く。

15日 晴 横平山争奪戦、特に惨状。薩摩軍は横平山政府軍陣地を白刃攻撃、政府軍敗退。警視隊抜刀隊の功大きく午後4時頃奪回。開戦以来第一の激戦。立花木方面砲戦、宮山（熊野座神社付近）争奪戦。熊本城の囲みを急ぎ解かんとするは天下大勢の関する所たればなり。山鹿口第4次戦。

16日 晴 休戦。前日の激戦で政府軍の混乱が著しいため。田原坂本道北側の谷、栗木平、宮ノ原付

近及び二俣口方面で砲撃、銃戦。薩摩軍も敢えて出ず。

17日 晴 政府軍第5次総攻撃。重点を田原本道攻撃に指向し、砲隊の支援を受け攻撃。二俣口警視抜刀隊攻撃。薩摩軍は陣地を連珠のように築き拒守する。二俣より舟底を助攻。軍人、軍属の俸給増給。

18日 晴 政府軍は正面田原坂本道を攻撃したが進展せず。薩摩軍へ熊本隊の救援。田原坂本道北側の岡林、谷、北平、南側の水本などで戦闘。地雷あり。砲声は雷轟の如く、電光の飛ぶが如し。

19日 晴曇 休戦。政府軍木葉で軍議、翌日からの攻撃部署を決定。別動第2旅団日奈久上陸。

20日 大雨 政府軍第6次総攻撃。政府軍は吉次峠を陽攻。二俣の政府軍は午前5時出発し、6時諸隊一斉に攻撃を開始。右翼隊は赤尾、立花木、七本柿木台場の薩摩軍（高鍋隊）陣地を撃破。北方の田原坂本道方面へ進む。左翼隊は薩摩軍本道守備の背後の田原本村、宮の前などに回り込み、薩摩軍は潰走。午前10時、田原坂、ついに陥落。次いで轟へ進軍、先鋒の隊は11頃植木に進出する。しかし、向坂で薩摩軍の逆襲にあい政府軍は潰乱、植木に引いた。

#### 田原坂陥落後の荻迫・木留付近の戦闘概要

21日 晴 植木進出の政府軍と陣地争奪戦。原倉方面では政府軍が小規模攻勢。山鹿口第5次戦。

22日 晴 植木の政府軍は当面の薩摩軍を攻撃するが、反撃されて撤退。田原坂の軍用電線復旧。

23日 雨曇 政府軍は植木・向坂方面の本道攻撃隊と木留攻撃隊に分かれて、午前6時に総攻撃を開始。薩摩軍が激しく反撃。雨が多く、道路はぬかるみばかりで歩行困難。政府軍は田原坂を突破すれば、熊本城連絡は苦もないと考えていたが、再び陣地戦の状態となり第二の田原坂戦開始。

24日 雨 政府軍は滴水、轟の二方向から木留、円台寺方面を攻撃、放火。一時は占領したが薩摩軍の逆襲を受け撃退される。政府軍の食料は十分にある。士官学校生徒と教導団生徒が士官見習と下士になって、欠員を補充した。

25日 晴 明け方、政府軍は滴水から木留の薩摩軍に攻撃を開始したが、霧を利用して出撃した薩摩伏兵の反撃にあい、23日の守備線まで押し返される。薩摩軍の勢いは極めて激烈。このため野津大佐は急ぎよ七本から救援2個中隊をよび、轟から薩摩軍左翼に向かい攻撃させたので勢いを盛り返した。

26日 曇 政府軍は昨日の失地を回復。攻撃目標を薩摩軍の本営がある木留に絞り果敢に攻撃するも、目的を達することはできなかった。カステラ支給、甘美。

27日 晴 気候冷寒、対峙距離が接近し互いに舌戦し、狙撃される者がいた。木留、吉次峠も抜けず。第2旅団近衛兵が荻迫薩摩軍を急襲して占領。高月官軍墓地の余地なく、新たに宇蘇浦に埋葬開始。

28日 晴 寒威尚厳、政府軍諸隊は各々当面の薩摩軍を攻撃したが敗退する。薩摩軍、山谷に出没して攻撃。銃弾飛注して雨霞の如し。政府軍は士官に下着を給した。

29日 晴 気候暖和、休戦状態。薩摩軍は岩野方面より植木の背後を襲撃したが、政府軍に要撃され野々島方面に後退。山鹿方面の第3旅団は戦闘少なし。

30日 雨 政府軍は原倉口の兵を増員して、薩摩軍熊本隊が守る三ノ岳方面を攻撃するが、成果上がらず撤兵した。雨甚し。植木口の前線は両軍の陣地が近接しており、互いに話ができ、物を投げ合うことができるほどの近さであった。

31日 雨午後晴 休戦。政府軍では軍議が行われ、半高山を占領し吉次峠を奪い木留に進入する計画が立てられる。兵卒にパンを支給する案が出されたが、口慣れていないなどの理由で却下。

4月1日 晴 政府軍は立岩と横平山から挟撃し、薩摩軍は半高山が敗れ立岩等からの攻撃で上古閑、熊本隊守備の吉次峠も奪われた。三ノ岳に陣を移すが、半高山から攻撃されついに撤退。政府軍は木留に進出。現在の菱形小学校付近に政府軍砲壘があり、その南側で小戦闘があった。

2日 大雨 政府軍は木留の薩摩軍を攻撃、放火、占領。集落大火。薩摩軍は南の辺田野に後退。木葉高月の墓地が人目につくので、七本に新たに墓地を開くこととする。戦場に散乱する武器弾薬を拾い集め

た者にこれを買上げることを布告。

3日 晴 休戦、防備強化。政府軍は弾薬分配や命令伝達、定例会議などの方針を定めた。また、兵卒10人毎にローストビーフ1缶を支給した。

4日 晴 休戦、警備強化。桜花爛漫。

5日 晴 政府軍、軍議。緊要の地の田原坂と吉次峠は抑えたけれども、いまだ熊本城と通ぜず。荻迫を突破して、一気に熊本城に進出する計画を立てる。

6日 晴 霧深し。政府軍の荻迫第1次総攻撃、警視隊も含め兵力約4600人。明け方より荻迫柿木台場一帯で大激戦（植木町山頭遺跡）、薩摩軍は氣勢激烈、縦横無尽の攻撃で政府軍を退けた。辺田野でも同様。熊本城に運ぶ予定だった大量の糧米は、轟にて保管。

7日 雨 休戦。辺田野付近での小戦闘。

8日 曇のち雨 政府軍荻迫第2次総攻撃。荻迫柿木台場一帯大激戦（植木町山頭遺跡）、政府軍台場確保。両軍陣地は近く距離は10mほど。この日の死傷者288名、消費弾薬約55万発。

熊本城籠城中の熊本鎮台突圍隊は、城を出て包囲を突破、宇土の衝背軍との連絡に成功。

9日 雨 薩摩軍は辺田野の戦闘で政府軍を退けた。政府軍に宮中から綿撤糸、ワインなどが届く。

10日 大雨 休戦。政府軍は武器弾薬、兵員の損耗が激しいにもかかわらず、いまだに熊本城と通じることができない。増援部隊を要請。石川付近の戦闘。

11日 晴 休戦。政府軍は攻撃方向を山鹿口に変更、進撃。薩摩軍は東方へ退去。

12日 晴 植木口薩摩軍は滴水政府軍を攻撃。政府軍御船占領。薩摩軍三番大隊長永山弥一郎自刃。

13日 晴 休戦。荻迫で小戦闘。

14日 曇のち雨 植木口で小戦闘。薩摩軍が熊本城の包囲を解く。西郷ら木山へ移動。政府軍は熊本城入城、籠城戦終る。

15日 晴 午後1時頃、薩摩軍は狼煙を上げ、植木方面での守備を解き撤退。城北地域での戦闘終る。

## 6. 『征西戦記稿』にみる田原坂の戦い

### 巻六 田原坂戦記

賊、守地去る 賊は已に前日の大敗（二月二十七日、高瀬の戦い）に懲り、夜に乗じて其守地を退けり。我軍乃ち攻襲偵察兵を出し、賊の備未だ整わざるを偵知し兵を二道に分ち、一は木葉より植木に出て、一は伊倉より吉次越を経て小窪に出て進んで熊本に会せんとするの策を定む。

田原坂戦 是に於て山縣参軍は（三月）三日福岡を発し三日南関に赴き、大山少将と同じく兵二中隊を率て高瀬に出づ。時に野津（鎮雄）少将は正に陣頭に在り諸隊を指揮し戦方さに酣なり。既にして我軍又大捷を得、万楽寺等の諸村に在る賊壘を陥れ北ぐるを逐て遂に木葉を取る。賊は退て田原坂に抛れり。

夜に入って忽ち急騎の南関より来るあり。三好（重臣）少将の書を伝う曰く「今朝賊大挙して我岩村口を襲う、我兵力拒殺傷相当る」と。須臾にして又来報あり道う「賊殊に猛烈を極め劇戦未だ已まず、速かに多少の援兵を送せんことを請う」と。乃ち近衛兵二中隊をして赴き救わしむ。俘虜の言に抛れば、賊は全力を此口に集め以て南関を衝くの計策なりと。是日、山鹿口の参謀長福原（和勝）大佐狙撃せらる。後二十日余日遂に死す。

田原坂戦の内 四日、両旅団の兵進んで田原坂の壘を攻む。劇戦奮闘至らざる所なく夜に入って戦い未だ止まず。是日野津（道貫）大佐は本月一日区画する所の部署に従い、兵二大隊半を率て右翼吉次越を経、小窪に赴き正面軍と会し、更に部署を定めて熊本に入らんとす。兵を進めて吉次越に至り劇戦すること終日終夜、遂に賊の一将篠原國幹を殪す。然れども、我兵竟に利少く又我士官の死傷半に過ぎたるを以て、一大隊を原倉村に置き其他の軍は悉く高瀬に退く。

田原坂戦の内 五日、田原坂の戦亦昨日に異ならず、賊は常に丘陵の要所に拠って防戦し、我兵は随って仰攻の勢をなすが故に百方方略を盡し、猛烈の攻撃を行うも其功を奏すること能わず。乃ち戦法を変じ、賊の左翼を突かんが為めに別に一隊を編制し、午後に至り潜かに左翼に迂回せしめんとせしに、木留口の賊、忽然襲来し此策も亦行われずして止めり。

#### 巻七 田原坂戦記

田原坂戦の二 野津大佐、已に高瀬に退き野津少将と合議し高瀬、原倉、伊倉には厳に守備を設け、全軍は坂門田口より進行し、其左傍山上に一大隊を配擢し以て吉次越の賊を防ぎ、本軍は此より左折し吉次の險を避け吉次と田原との中間なる間道を攀躋し、賊の左腹を突くの策を立て、明六日より之を施行せんことを請う。乃ち其請の如くせしむ。

野津少将も亦以為らく「田原坂前面は無比の要害なれば、守るに易く攻るに難く、到底我兵は勞して功なし」と。因って其右翼の兵を野津大佐の兵に合し、田原坂の右側に出るの策を定め、六日、味爽三方より田原坂を攻撃し、遂に賊の背後に出づ。賊力拒し壘壁猶固し、我軍又新来の兵を併せて劇しく其前面を衝突せり。是日、吉次越も前日の如く其中央に出て戦を開き、兩道殺傷相当れり。

田原坂戦の二 田原口は八日も劇戦し幾んど之を陥るゝ者二たび、然れども賊百四、五十名毎に一群を成し白刃を揮って我軍を衝突す。我軍頗る之が為に苦む、乃ち別軍を以て午後より賊の左翼に迂回し、其三壘を陥れ正面の兵も奮進し賊壘を距る6、7間に迫れども猶お十分の功を奏するに至らざりき。

田原坂戦の二 九日、海軍清輝艦小天村を砲撃す。

十一日、正面軍又暁を冒して横平山正面の二賊壘を取る。而して側面賊兵の攻撃を受け、且つ為めに後を断たるゝの虞あるを以て之を棄つ。是時に於て彼我の位置、実に倏忽瞬息（息をするほどの短い時間）の間に変じ、賊壘を毀ち或は之を改築するの暇なし。亦以て両軍の戦い甚だ急なるを見る可きなり。

#### 巻八 田原坂戦記

両口分配 是時に当り軍略より之を論ずれば、我は力を山鹿口に盡すに田原坂と同等の兵数を以てし、兼松にも適當の兵を出さざるべからざる者の如し。然れども、賊已に全力を田原坂に盡すが故に我も亦力を一方に省かざるを得ざるなり。山縣參軍の初め山鹿口に往て戦略を区画し戦線を巡視する時にも、亦此口の姑く防守を主とするに如かざるを察し、力を防守に専らにせしめ以て時機を待たしむ。其後、田原口の戦、未だ意の如くなる能わざるに因って、乃ち請うて三浦少将をして山鹿方面の司令に専任し、更に進攻の策を立てしむ。

初め野津、三好兩少将の各其旅団を率て戦地に達するや、敵已に眼前に在り事甚だ急なるを以て、固より兩旅団の區別に拘々たるに違あらず、其營も之を一所に置き二人合一して兩旅団の兵を使役し以て攻守を規画し、三浦少将も亦曩に其第三旅団を率て二侯の戦地に向う。

是に於て三旅団の兵は、大抵之を田原口に攢め其内一部を分て之を山鹿口に出せり。大山少将所率の別働隊、後着兵も亦合して田原口に向う。是を以て各旅団の兵、彼此甚だ錯雜せり。是に至って三浦少将を二侯より召還して専ら山鹿口に当らしめ、大山少将をして別働隊司令長官を以て、三好少将銃創療養中、第二旅団司令長官を兼勤せしめ、野津少将と共に田原坂に当らしむ。

是よりして団兵の錯襍も漸次改まり、田原口は第一、第二旅団及び大山少将所率の別働隊を以て攻守し、山鹿口は第三旅団の担任する所となれり。此部署を指定し及び戦略を区画せんが為め、山縣參軍も猶お南関を去る能わざりしに、是に至って略々定まる。乃ち十一日を以て其營を高瀬に進めたり。

十二日午前七時、吉次の賊二手に分れ、一は間道を潜行し白木村を経て木葉を襲わんとす。我軍備あり、襲う能わず、又原倉村に進ませし賊は我守兵の為めに逆撃せられて退く。此兵は賊將、貴島清が始て率い来る者なりと云えり。

田原坂險 田原坂の險要なる坂道、隧の如く羊腸崎嶇（曲がりくねった、けわしい山道）守るに易く攻

むるに難きの地勢たり。我軍劇戦昼夜少しも間断なきも、毎に此地形の爲めに阻礙せられ遺憾に堪えざる者あり。夫れ賊兵は其総員の内、凡そ二千人を以て衝背軍に当り、又八百人を以て熊本を囲み其余は挙げて正面に向う。就中、私学校党の精鋭敢死なる者を此口に攢め全力を盡し、堅塁を両崖十数所に築けり。其塁たるや尋常胸壁の比に非ず、直に地を鑿つて横隧をなし我が進路を遮断し、賊は悉く穴居の状をなし以て固守力戦す。

我軍も亦本月の初より力を此口に盡し日夜攻撃し、尚お数回の迂回兵を用いたれども、彼れ天険に拠り其守り尤も固し。故に全役を終るまで其死傷の尤も夥きは田原口なりとす。

十四日にも昧爽より烈しく其側面を撃ち、選ぶ所の東京巡查百名を以て抜刀隊を編み、砲銃戦の機に乗じて賊塁に突入せしめ、全兵繼で奮進し其数塁を抜き之を毀ち街道に沿って戦い血を踏み屍を踏み、極めて賊塁に接近し両軍の銃口相触るゝに至り、賊を殺すこと六、七十人、賊爲めに膽を摧く。而して正面の塁は尚お依然たり。陥るゝ所の賊塁に就て其死状を察するに、守兵殲くるに至らざれば退かざる者の如し。是に於て其の竟に旗鼓の下に降る者に非ざるを知れり。夜に入つて賊、田原正面の哨兵線に襲入す、我兵撃つて之を却く。

十五日、我兵午前六時を期し二俣前面及び横平山を攻撃せんとして部署已に定まる。賊、期に先んじ午前五時亦来て正面及び右翼を襲う。正面は我兵劇戦して之を却け、右翼は遂に横平山上の一塁を失えり。乃ち高瀬屯在の兵三中隊をして急に赴き救わしめ、午後五時直ちに右翼の塁を復せり。食頃にして正面の賊百余名復た白刃を揮つて我胸壁に突入す。我軍戦い尤も劇しく遂に賊を殲して幾んど盡るに至る。蓋し是日の戦は開戦以来第一の劇戦なりとす。

夫れ田原坂、伊倉、二俣の開戦より昼夜劇闘、既に十余日を経て両軍の死傷甚だ多、戦の劇烈なる我邦古今の歴史上に在つて未だ嘗て見ざる所。蓋し田原坂より熊本に至るまでは丘陵断続し要害甚だ多く、之を守るに必死の賊を以てす。其進取難きや固より言を俟たず、是れ其劇戦此の如くなるに至る所以なり。而して敢て之を顧みるなく大小砲銃を連発し、昼夜烈戦し幾千の勇士剛卒甘んじて其碧血を洒ぎ、屢々中央突貫を行い以て急に熊本城の囲を解かんと期する者は、熊本の一城天下大勢の関する所たればなり。

#### 卷九 田原坂戦記

田原坂抜く 斯くて十七、十八両日も正面攻撃を行へども賊敢て一步を退かず。十九日、先鋒の諸将相議し將さに明日を以て更に一回の大進撃を試みんとす。

二十日、我軍は大風暴雨を冒し予定の位置に擺布し、右翼吉次越と左翼田原本道は固く守り、右に斜に二俣より中央軍を進め、其前軍は猛烈に突貫し以て後軍を啓き、後軍は縦横奮闘銃撃剣刺し、左右の塁の未だ抜けざるをも顧みず、午前九時直に植木を取り火を放つて賊の貯蓄せる弾薬を焼燼し、其の回復の念を絶てり。

尋で左右の賊走る、我軍進で向坂を扼す。賊、鋭を盡して植木に迫る、劇戦天明に至る。是に於て植木以北田原坂に至るまで皆我が有に帰したれども、此夜は諸口皆警備を厳にし、諸軍総て露営せり。其艱苦、実に甚し。而して野津、大山両少将は其営を轟村の七本に進む。

#### 卷十 田原坂戦記

山鹿賊走の内 田原坂本道の兵は昨日植木を過ぎ一たび向坂を取りしに、其午後に至り山鹿口より突出したる賊兵の爲めに烈しく其側面を衝かれ、已むを得ず退て植木に保守す。而して山鹿口の官軍此口に來会せり。是に於て田原口の賊は向坂の險に拠り、山鹿口の賊は鳥栖、隈府等の地に拠れり。

蓋し、田原坂の戦は全役中の最大劇戦にして我勇士を失うこと亦少からず。而して、其尤も憐む可く惜む可きは別働抜擢狙撃隊なり。初め山縣參軍の南関に在るや田原、二俣共に数回の劇戦に及べども其陥破し難きを以て、砲工兵の中に就て敢死の士官下士合せて三十二名を選抜し編じて一隊と爲し、各自に動作するを許し何れの地方に戦うも敢て問うことなく、唯田原坂の背後に出るを期せしむ。其戦に赴くの前

夜本営に來り悲壯慷慨、死を誓って而して後に發す。後戦う毎に功あり。然れども田原坂の陥る比には三十二名の者死傷して殆んど盡きたり。

其二 田原、山鹿兩路の軍既に進み、本軍は植木に陣して向坂の賊と相對す、之を中央とす。而して右翼は滴水及び原倉より海岸に至り、左翼は味取より山鹿新町に至り蜿蜒（うねうねと続く）屈曲して哨線を連絡すること凡そ十里余に亘れり。此より熊本連絡に至るまで二旬余日間、又一大戰場を現わせり。

其三 是に於て我軍は更に部署を齊整し、二十三日は中央植木より右翼木留前面の間に進撃し劇戦終日、而して吉次越殊に烈しく殺傷甚だ多し、日暮るを以て交綏す。二十四日も亦向坂及び木留を攻撃し殆んど木留を抜かんとす。二十五日は賊大霧に乗じて植木及び木留の我が哨線に突入し、午後八時賊又木留口に來襲す。皆劇戦して之を却く。是日、山縣參軍は營を上木葉に移し進攻の事を処分す。二十七日午前十一時、我兵砲撃して木留村の賊營を焼く。三十日は総軍進撃を約し、午前三時半より迂回兵を用いて三岳の賊を攻め、半腹以上に至れども道路嶮難且つ賊堅壘を上に乗せ銃丸を雨射し善く拒ぐを以て、我軍は兵を収めて原倉に退けり。

#### ○、「第五大区九小区各村戦地景況輯録 豊岡村」翻刻（『歴史のはざまに』より、一部改変）

二月二十三日 熊本応援の官軍凡そ100人計り、同区轟村の内、字沖野原に於て不意に賊兵と出合い少々発砲、軍の利なきを察せられてか軍を引揚げて、当村田原坂の下、鈴麦村境の川中、或いは同村字百把の高岸に抛り相待つ處、賊兵進んで田原坂を下るとき、待ち設けたる官軍、賊数名を砲殺す。然りと雖も、賊勢益加わり頗る猖獗なり。官軍尚引いて木葉、高瀬へ軍を退らる。因つて茲、賊兵日々往來す。

三月一日 字中久保に賊200名程來たり、字舟底、水本、北平、岡林、西原、宮ノ原等に砲台を設ける。

二日 字休居、宮ノ原等へ賊600名程來たり。

四日 午前6時頃より田原坂にて砲戦。官軍鈴麦村字洲崎より川に沿うて進軍し、豊岡村字岡林、谷等、二手に別れ激戦あり。亦、字西原より官兵進み砲發し、賊の設けたる壘4ヶ所を抜いて戦争す。同日、賊兵300名程田原字に來たり、數ヶ所に陣屋を設け、同日、字谷、兵火。

官軍、豊岡村の内、字清水の吉川嶋彦、字石垣田の伊形安平宅に近衛兵300名余、滞陣。字水本、舟底等にて砲戦、同所兵火。同日午後6時頃、字清水に退陣。同日、鈴麦村字洲崎より川を伝い、豊岡村字岡林に進み、賊の設けたる砲壘4ヶ所を抜き同所に陣營を設け、田原の登りつめに長さ20間余の陣營3つ建設、其の上に高さ土手有之、大砲を据え付、字田原、上ノ原、宮ノ原、宮ノ前等の賊と日々戦い、又街道の左右に高岸有るに同じ高さに土俵を以て膝立矢狭間を切り、字水本、舟底に有る賊と日々戦争す。

五日 午前6時頃、官軍は七大区二俣村へ進み、賊兵は当村字中久保より谷を隔て砲戦し、同日、字迎原に賊200名程來たり、平原村、鈴麦村の官兵に向かい守る。

官軍、字清水より午前6時頃より字水本、舟底等に進軍中にも舟底字民家の上、賊砲壘と30間程を隔て、是より日々砲戦。

六日 田原坂并に上ノ原、中久保一度に砲戦あり。

七日 午後4時頃より官軍進撃、内北川より進み双方土手を小楯に取り、1時間程挑戦し、賊劔鎗を以て官軍に乱入、17,8名を討ち、官軍も賊数名を討ち取る。同日、字田原兵火。

八日 田原神社兵火、同日、官軍字北平に進撃。同日午後6時、官軍頻りに進入して、字宮ノ前にて攻撃し、官軍16,7名戦死、賊兵を討つ8,9名。

九日 午前3時頃、右砲壘に賊兵大いに呼ばわり抜刀にて10間程進み來るに、賊壘より官兵の砲壘の低きこと10間余あって、下より打出す砲勢に恐れ進み兼て、賊元の壘に逃げ帰る。賊兵11,2名を殲す。

九日より十日 二俣村より中久保と谷越の砲戦。

十二日 同所兵火。同日、賊兵、官軍の大砲破裂の射撃を恐怖し、中久保より宿に陣營を転ず。

午前6時頃、字清水より舟底川を伝い、字六反田の井手に沿うて進み登り、古閑山字に在る賊を破んと勇奮進撃するに同所の賊壘高く、且堅くして頻りに砲防防御す。終に官軍進み兼、浮足になり井手或いは土手崖を伝い、大いに苦戦して清水字に退陣す。此の戦いに官兵戦死13,4人程。

十三日より十四日 昼夜田原坂井に字上ノ原、水本、舟底に於て激戦。

十五日 字宮ノ前にて午前6時頃官軍進み来るを、賊抜刀にて字宮ノ原より押寄せ1時間程戦い、官兵5,6名戦死、賊兵8,9名を殲す。同日、字田原の民家罹災、同日、字立花木にて砲戦。

官兵、内北川より進み、宮ノ前にて激戦苦戦して賊壘終に不拔、鈴麦村に退陣。

十六日 官兵、字谷より進み字栗ノ木平に進撃するに、宮ノ原より賊押下し下射す。官軍不乱、抜尚退いて石垣田、伊形安平宅に次す。同日、中久保兵火。

十六日より十七日まで 前同断にて。

十七日 亦々同所に官兵攻め登るに、賊亦前日の如く防守す。官兵は二手に別れ、一手は欺いて逃下るを、賊勝に乗じ追ひ来るを字谷の官軍の伏兵起り、烈しく砲撃す。賊敗して逃げ道を失ひ左右に潰乱す。官兵大いに砲発して、賊17,8名を殲す。

十八日、十九日 昼夜戦争、砲声無止時、字水本、谷、岡林、北平等にて数十度の戦争、昼夜の砲聲、雷の轟くが如し、電光の飛ぶが如し。十八日、宿兵火。

二十日 午前6時頃、轟村より賊の敗兵乱来たり。同午前7時頃より賊兵不殘當応村を経て植木に逃去す。

轟村、赤尾、立花木の官軍勇戦進撃に回って七本の賊兵敗れ、宿井に休居、田原等の賊壘も一度に潰走す。官軍進んで宿、休居、田原等の民家を放火し、同日午前8時頃、轟村へ進軍。罹燹合せて40戸、当村は植木より高瀬への第一の險隘の地形にて、守るに利あつて攻めるに難しき地勢故に、官軍の死傷頗る夥多なり。従つて戦争も亦烈しく、因つて茲人民家財を山林に運搬して兵難を避け、穴居或いは野に起臥し死傷9名、余は辛くして身命を保守するを得たり。

#### d. 調査地周辺における両軍の戦闘状況の推定 (第25表 小字参考図)

田原坂各調査地における採集・出土遺物や戦闘の具体的様相を理解する等のための一助として、政府軍、薩摩軍の部隊ごとの戦闘日、戦闘地一覧を作成した。作成は参謀本部編纂課『征西戦記稿』を基本とし、薩摩軍については『新編西南戦史』、『薩南血涙史』も加え、国立公文書館アジア歴史資料センター資料も活用した。なお、岡林遺跡は出土遺物が少なく、場所も離れているので今回は除外した。

部隊略称は次のとおり。近歩1連1大1中→近衛歩兵第1連隊第1大隊第1中隊、熊鎮14連1大1中→熊本鎮台歩兵第14連隊第1大隊第1中隊など。

薩1大1小→薩摩軍1番大隊1番小隊、党薩諸隊は熊本1小→熊本隊1番小隊、高鍋1小→高鍋隊1番小隊等とした。



小字参考図 1 / 24,000

第25表 調査地周辺における両軍の戦闘状況の推定

調査地 北平古道、田原城跡・田原寺跡、熊野座神社 ⇒ 豊岡台地北部一帯

・小字名 北平、上ノ原、谷、栗ノ木平、田原、宮ノ前、宮ノ原など

調査地 みかん小屋周辺、本道二ノ坂、谷村計介碑、熊本市有地(北)、(南) ⇒ 田原坂本道北側一帯

・小字名 岡林、栗ノ木平、宮ノ原、宮ノ前など

調査地 田原坂公園北半部、田原坂公園南半部、資料館下、舟底遺跡 ⇒ 豊岡台地中央部一帯

・小字名 宮ノ原、水本、舟底、休居、宿、古閑山、中久保、供田、松山など

聞き取り調査のみ ⇒ 豊岡台地南部一帯

・小字名 赤尾、立花木、轟、七本など

3月4日

政府軍		推定戦闘地及び調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
豊岡村 左側を進む	近歩1連1大1中左小隊	豊岡台地北部一帯  調査地 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社	薩4大7小 <sup>(4)</sup>	田原坂上の小学校後ろ 松山
田原坂 坂左側から邊場山(平原山) <sup>(1)</sup> 下を通過して豊岡村へ向かう	近歩1連1大3中		薩5大8小 <sup>(5)</sup>	熊野座神社、宮山
田原坂本道 左方の山谷から進入	熊鎮14連2大2中左小隊		薩6大1小	豊岡本村背後の山中
田原坂本道 左方に向かう	熊鎮14連2大4中		薩6大3小	豊岡本村背後の山中
田原坂本道 豊岡村に向かい山上の薩壘に 迫る	熊鎮14連2大4中左小隊		薩6大4小	豊岡本村背後の山中
田原坂 坂道を進む	近歩1連1大2中	田原坂本道北側 一帯	薩4大7小	田原本道右翼
二俣より田原坂へ偵察 のち接戦	熊鎮14連2大3中の一部	調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩5大1小	田原本道右翼
田原坂本道	熊鎮14連3大3中		薩5大5小	田原本道右翼
田原坂本道 田原坂本道 正面、坂上に迫る	熊鎮14連3大4中			
田原坂 右側に迂回し豊岡村に至る	近歩1連1大4中	豊岡台地北部一帯		
田原坂 坂傍から横撃、1壘を奪う	近歩1連1大4中右小隊	田原坂本道北側 一帯		
田原坂本道 坂上右方の薩壘を攻撃	熊鎮14連3大1中	豊岡台地中央部 一帯  調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩1大8小	田原
田原坂本道 坂上右方高地より進入	熊鎮14連3大2中		薩4大7小	
			薩5大5小	
二俣長窪間 谷を挟んで村端で対戦	近歩1連2大2中 <sup>(2)</sup>		薩5大8小	
			薩6大2小	
			薩6大4小 <sup>(6)</sup>	
			薩6大6小 <sup>(6)</sup>	
			薩6大7小 <sup>(6)</sup>	

田原坂半腹 敵前 250 m 二俣村	東鎮豫砲 1 大右分隊 (3)	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯	薩砲兵 1 個半隊 (7)	田原坂守備
			薩 1 大 7 小 薩 2 大 9 小 薩 5 大 9 小 薩 6 大 5 小	田原坂左翼 (七本、轟方面)
		豊岡台地南部一帯	薩 1 大 6 小 薩 6 大 2 小 薩 7 大 11 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小 熊本 3 小 (8) 熊本 7 小 (8) 熊本 9 小 (8)	七本  七本のち吉次
			薩 4 大 6 小 (9)	轟村

3月5日

政府軍		推定戦闘地及び調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
豊岡村 田原の左より進撃 豊岡村 進入 薩軍左翼の嶮より攻撃	熊鎮 14 連 2 大 4 中 近歩 1 連 1 大 1 中右半隊 (10)	豊岡台地北部一帯 <b>調査地</b> 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社	薩 5 大 8 小 (12) 薩 5 大 5 小	田原坂北之手松山台場 田原本道右翼
田原坂 田原坂	熊鎮 14 連 3 大 4 中 熊鎮 14 連 3 大 2 中右小隊	田原坂本道北側一帯 <b>調査地</b> みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩 5 大 5 小左半隊 薩 5 大 8 小 (12)	田原本道 田原本道
長窪山麓 長窪山 右方の一高阜	近歩 1 連 1 大 2 中 近歩 1 連 1 大 4 中	豊岡台地中央部一帯 <b>調査地</b> 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 1 大 8 小 薩 4 大 7 小 薩 6 大 4 小 薩 6 大 6 小 薩 6 大 7 小 薩 1 大 6 小 (13) 薩 4 大 5 小	田原  長窪山麓、右方の一高阜 長窪山
二俣	中央分隊 (東鎮豫砲 1 大) (11)	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
		豊岡台地南部一帯	薩 6 大 2 小 薩 7 大 11 小 佐土原 1 小	七本

			佐土原 2 小	
			薩 4 大 6 小	轟村

3月6日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原口 坂左の谷より進軍、 薩壘 3ヶ所を抜き追撃、一の宮 社に放火し進む	近歩 1 連 1 大 1 中 <sup>(14)</sup>	豊岡台地北部一帯 <b>調査地</b> 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社	薩 5 大 8 小 <sup>(18)</sup>	田原坂北之手松山台場
田原坂左翼 田原坂左翼	大鎮 9 連 2 大 3 中 熊鎮 14 連 3 大 1 中 1 分隊			
田原口 坂右に出る 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂 田原坂 田原坂	近歩 1 連 1 大 3 中 大鎮 9 連 1 大 1 中 大鎮 9 連 1 大 4 中 大鎮 9 連 2 大 1 中 熊鎮 14 連 2 大 2 中 左小隊 選抜銃卒 (14 連 2 大 各中隊) 熊鎮 14 連 3 大 各中隊	田原坂本道北側 一帯 <b>調査地</b> みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地 (北) 市有地 (南)		
二俣口 長窪山薩壘に迫る (倉の台場…田原坂口横面)	近歩 1 連 1 大 4 中 <sup>(15)</sup>	豊岡台地中央部 一帯 <b>調査地</b> 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 1 大 8 小 薩 4 大 7 小 薩 5 大 5 小 薩 5 大 8 小 薩 6 大 4 小 薩 6 大 6 小 薩 6 大 7 小 薩 7 大 11 小 <sup>(19)</sup>	田原
二俣口 舟底山 田原坂右翼 田原坂右翼 田原坂右翼	選抜隊 大鎮 8 連 2 大 1 中 大鎮 8 連 2 大 4 中 大鎮 9 連 2 大 2 中		薩 1 大 7 小 薩 2 大 7 小 薩 2 大 9 小 薩 5 大 1 小 薩 6 大 5 小	田原方面
七本村、轟村 田原坂本道に近づく	近歩 2 連 1 大 1 中 <sup>(16)</sup>	豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣村	砲兵右分隊 (東鎮豫砲 1 大) <sup>(17)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
		豊岡台地南部一帯	薩 1 大 6 小 薩 6 大 2 小 薩 7 大 11 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小	七本
			薩 4 大 6 小	轟村

3月7日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 左側山上の薩軍に迫る 田原坂本道 鉢割坂及びその右に進む 田原坂本道 北山から豊岡村に深入 小畑村に向かう 小畑村に向かう 小畑村に向かう	大鎮9連2大1中 大鎮9連2大2中 大鎮9連2大3中 近歩1連1大3中 広鎮11連1大3中 広鎮11連1大4中	豊岡台地北部一帯  調査地 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社	薩5大8小 <sup>(23)</sup>	熊野座神社(宮山)、 小松山台場(北手松山 台場)
田原坂本道 田原坂本道 林叢間潜進、路左右に進む 田原坂 坂上劇戦に応援 田原坂	近歩1連1大1中 別働狙撃2小、3小 熊鎮14連3大4中 熊鎮14連3大1中	田原坂本道北側 一帯  調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩2大7小 薩4大7小 薩5大8小 <sup>(23)</sup> 薩7大11小	田原本道 田原本道 田原本道 田原本道
田原坂本道正面 薩の左側を横撃 田原坂本道正面 近歩2連1大1中の左翼 田原坂本道正面 薩の左側を横撃 田原坂本道正面 近歩2連1大1中の援兵	近歩2連1大1中 <sup>(20)</sup> 近歩2連1大3中 <sup>(20)</sup> 別働狙撃1小 近歩1連1大4中	豊岡台地中央部 一帯  調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩5大5小 薩6大4小 薩6大6小 薩6大7小	田原
二俣口 中久保 二俣口 右は長窪山の薩軍 二俣口前面 右は長窪山の薩軍 二俣口前面 右は長窪山の薩軍	近歩1連1大1中 <sup>(21)</sup> 近歩1連2大2中 大鎮9連1大3中 大鎮9連1大4中			
田原口本道 二俣村	砲兵隊 (東鎮豫砲1大右、 中央分隊) <sup>(22)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵	近歩1連2大1中 近歩1連2大4中 東鎮1連2大1中 東鎮1連2大3中 東鎮3連2大2中 東鎮3連2大4中半隊	豊岡台地南部一帯	薩6大2小 薩7大3小 <sup>(24)</sup> 薩7大10小 <sup>(24)</sup> 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小 熊本7小 熊本10小 薩1大6小 薩4大6小	七本       轟村



田原坂右翼 応援兵	熊鎮 14 連 2 大 2 中		
田原坂右翼 応援兵	熊鎮 14 連 2 大 4 中 1 小		
田原坂右翼 応援兵	熊鎮 14 連 3 大 2 中		
田原坂右翼 応援兵	熊鎮 14 連 3 大 4 中 1 小		

3月9日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
		豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原城跡・寺跡	薩 2 大 6 小 薩 6 大 4 小 薩 6 大 6 小	豊岡村守備 豊岡村守備のち春日村 豊岡村守備のち春日村
田原口より田原坂進撃 田原口より田原坂進撃 二俣口より田原坂へ進む 二俣口より田原坂へ進む 二俣口より田原坂攻撃 二俣口より田原坂攻撃 二俣口より田原坂攻撃 二俣口より田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂 近衛の戦線に加わる 田原坂	近歩 1 連 1 大 1 中 <sup>(30)</sup> 近歩 1 連 1 大 3 中 <sup>(30)</sup> 近歩 1 連 1 大 2 中 <sup>(30)</sup> 近歩 1 連 1 大 4 中 <sup>(30)</sup> 東鎮 1 連 2 大 1 中 東鎮 1 連 2 大 4 中 東鎮 3 連 1 大 2 中 東鎮 3 連 1 大 3 中 近歩 2 連 1 大 1 中 近歩 2 連 2 大 2 中 近歩 2 連 2 大 4 中 東鎮 1 連 1 大の 2 個中隊 熊鎮 14 連 2 大 3 中 <sup>(31)</sup> (大鎮) 工兵 2 大 1 分隊 <sup>(32)</sup>	田原坂本道北側 一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)  豊岡台地中央部 一帯  調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 2 大 1 小 薩 2 大 2 小 薩 4 大 7 小 薩 5 大 5 小 薩 6 大 7 小 薩 7 大 3 小 薩 7 大 10 小	田原
二俣	砲兵 1 分隊 (東鎮豫砲 1 大) <sup>(33)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口 二俣口 轟の薩軍を攻撃 轟の薩軍を攻撃 轟の薩軍を攻撃	東鎮 1 連 2 大 3 中 東鎮 3 連 1 大 4 中 近歩 1 連 2 大 1 中 <sup>(34)</sup> 大鎮 9 連 1 大 1 中 <sup>(34)</sup> 大鎮 9 連 1 大 2 中 <sup>(34)</sup>	豊岡台地南部一帯	薩 6 大 2 小 薩 7 大 11 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小 熊本 3 小 熊本 7 小 <sup>(35)</sup>  薩 1 大 6 小 薩 2 大 1 小半隊 薩 2 大 2 小半隊 薩 4 大 6 小	七本  轟村

3月10日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道	近歩 1 連 1 大 1 中 近歩 1 連 1 大 3 中	田原坂本道北側 一帯		

		調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
長窪村中央 長窪山 田原左側	近歩1連2大2中 <sup>(36)</sup> 広鎮11連2大3中	豊岡台地中央部 一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小	田原
二俣	東鎮豫砲兵1大 (2小隊左分隊加わる) <sup>(37)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
立野山(立花木) 二俣前面田原右側 田原右翼	近歩1連1大4中 近歩1連2大1中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩6大2小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小 薩4大6小	七本 轟村

3月11日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道	近歩1連1大1中 <sup>(38)</sup>	田原坂本道北側 一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
田原坂本道	近歩1連1大3中 <sup>(38)</sup>			
田原坂本道	近歩2連1大の1個中隊			
田原坂本道	近歩2連の1個中隊			
田原坂本道	東鎮1連の2個中隊			
田原坂本道	広鎮11連3大4中			
田原坂本道	広鎮11連2大4中			
二俣口前面 田原中央	近歩1連1大2中		豊岡台地中央部 一帯	薩2大1小 薩2大2小
二俣口前面 田原中央	近歩1連2大1中	調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大6小	
二俣口前面 田原中央	大鎮9連1大2中		薩4大7小	
長窪山	近歩1連2大2中		薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大10小	

田原坂 二俣 舟底村薩摩攻撃 二俣	(大鎮)砲兵4大2小右分 隊1分隊 <sup>(39)</sup> (大鎮)砲兵4大2小 1分隊 <sup>(39)</sup> 砲兵(東鎮豫砲1大) <sup>(40)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
立野山(立花木) 立野山(立花木) 立野山(立花木) 二俣口 二俣口 二俣口前面 七本ノ原台場 二俣口前面 右翼中央 二俣口 田原坂進撃 二俣右側横平山守線を出、 前面薩摩攻撃	近歩1連1大4中 選抜狙撃隊 広鎮11連2大3中 東鎮1連3大1中 東鎮1連3大2中 近歩1連2大3中 <sup>(41)</sup> 広鎮11連3大3中 熊鎮14連2大2中 <sup>(42)</sup> 近歩1連2大4中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩3大4小 薩3大7小分隊 薩5大3小 薩5大4小 薩6大2小 薩7大3小 薩7大9小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小 熊本7小 薩4大6小	七本 轟村から七本応援

3月12日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道	近歩1連1大1中 <sup>(43)</sup> 近歩1連1大3中 <sup>(43)</sup>	田原坂本道北側 一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
二俣の前面左翼 二俣の前面左翼	広鎮11連2大3中 東鎮1連1大1中	豊岡台地中央部 一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大4小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小	田原
田原坂本道 二俣 二俣	砲兵4大2小の半分 砲兵4大2小の半分 東鎮予砲兵1大	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原城跡・寺跡		

		熊野座神社 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
立野山(立花木)	近歩1連1大4中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小	七本
立野山(立花木)	近歩1連2大3中2分隊		薩6大2小	
橋木(立花木)	熊鎮14連3大3中 <sup>(44)</sup>		薩7大11小	
七本/原台場	近歩1連2大3中半隊 <sup>(45)</sup>		佐土原1小	
二俣口前面	近歩1連1大2中		佐土原2小	
二俣口右翼	工兵全隊	熊本3小	熊本7小 <sup>(46)</sup>	
			薩4大6小 <sup>(47)</sup>	轟村

3月13日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道 田原坂口	近歩1連1大1中 近歩1連1大3中 (大鎮)工兵2大1小 4分隊 <sup>(48)</sup>	豊岡台地北部一帯  <b>調査地</b> 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社  田原坂本道北側 一帯 <b>調査地</b> みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩5大5小 薩2大2小左半隊 <sup>(52)</sup>	田原本道右翼 田原坂本道
橋木より田原坂に進む	熊鎮14連3大3中 <sup>(49)</sup>	豊岡台地中央部 一帯  <b>調査地</b> 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小 貴島2小 熊本1小	田原
田原坂本道 二俣村前面 二俣	砲兵4大2小の1分隊 砲兵4大2小の1分隊 東鎮豫砲兵1大 <sup>(50)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口前面 二俣口前面 七本/原台場	近歩1連1大2中 広鎮11連2大3中 近歩1連2大3中 <sup>(51)</sup>	豊岡台地南部一 帯	薩1大6小 薩2大2小半隊 薩6大2小	七本

			薩5大4小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 貴島1小 高鍋1小 高鍋2小 熊本3小	
			薩3大4小	轟村

3月14日

政府軍		推定戦闘地及び調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道 田原坂台場	近歩1連1大1中 <sup>(53)</sup> 近歩1連1大4中 <sup>(54)</sup>	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩5大5小左半隊	田原本道応援から、田原坂上へ進む
二俣より田原坂に進む 長窪村中央 長窪村前面 舟底村山腹の壘 守線	熊鎮14連3大2中 近歩1連2大2中 <sup>(55)</sup> 近歩1連2大3中 大鎮8連3大1中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小	田原
二俣村 二俣村	砲兵4大2小 東鎮予砲兵1大	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口 二俣長窪間の水車場近傍より、1小隊轟村に対する山腹に散兵、1小隊は山麓 七本口 本道を横断 七本口 本道を横断 七本口 本道を横断 二俣口 薩壘中央 二俣口 正面 二俣口 右翼の薩壘にせまる 二俣口 右側に出る 二俣口	近歩1連1大2中 <sup>(56)</sup> 近歩1連2大2中 <sup>(55)</sup> 大鎮8連3大2中 <sup>(57)</sup> 大鎮8連3大4中 <sup>(57)</sup> 熊鎮14連2大4中 <sup>(58)</sup> 警視抜刀隊 東鎮1連1中 東鎮1連2中 広鎮11連2大3中の1半隊 熊鎮14連3大1中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩1大7小 薩2大2小 <sup>(59)</sup> 薩5大4小 薩6大2小 薩7大4小 薩7大9小 <sup>(59)</sup> 薩7大10小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 貴島1小	七本 七本柿木台場

二俣口	工兵隊	貴島 2 小 <sup>(59)</sup> 貴島 3 小 <sup>(59)</sup> 貴島 4 小 <sup>(59)</sup> 貴島 5 小 <sup>(59)</sup> 貴島付属砲隊 <sup>(59)</sup> 高鍋隊 1 小 高鍋隊 2 小 熊本 1 小半隊 <sup>(60)</sup> 熊本 3 小 熊本 7 小 <sup>(60)</sup> 熊本 9 小半隊 <sup>(60)</sup> 熊本 10 小 <sup>(60)</sup> 熊本 11 小 <sup>(60)</sup>	
		薩 3 大 4 小	轟村

3月15日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
内北川より進み、宮ノ前で 激戦 <sup>(61)</sup>		豊岡台地北部一帯 <b>調査地</b> 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社		抜刀にて宮ノ原より押寄 せ戦闘 <sup>(61)</sup>
田原坂本道 田原坂本道	近歩 1 連 1 大 1 中 <sup>(62)</sup> 近歩 1 連 1 大 4 中 <sup>(63)</sup>	田原坂本道北側 一帯 <b>調査地</b> みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
二俣前面 長窪村中央 長窪村前面 田原阜	近歩 1 連 2 大 2 中 <sup>(64)</sup> 近歩 1 連 2 大 3 中 <sup>(65)</sup>	豊岡台地中央部 一帯 <b>調査地</b> 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 2 大 1 小 薩 2 大 2 小 薩 2 大 6 小 薩 4 大 6 小 <sup>(68)</sup> 薩 4 大 7 小 薩 5 大 5 小 薩 6 大 6 小 薩 6 大 7 小 貴島 2 小	田原
田原坂本道 二俣村 二俣村	砲 4 大 2 小隊の 1 分隊 砲 4 大 2 小 東鎮予砲 1 大 <sup>(66)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		

二俣口 二俣 七本口	近歩 1連 1大 2中 <sup>(67)</sup> 熊鎮 14連 2大 4中	豊岡台地南部一帯	薩 1大 6小 薩 2大 2小 <sup>(68)</sup> 薩 5大 4小 薩 6大 2小 薩 7大 3小 <sup>(68)</sup> 薩 7大 4小 <sup>(68)</sup> 薩 7大 9小 <sup>(68)</sup> 薩 7大 10小 <sup>(68)</sup> 薩 7大 11小 貴島 1小 貴島 2小 <sup>(68)</sup> 貴島 3小 <sup>(68)</sup> 貴島 4小 <sup>(68)</sup> 貴島 5小 <sup>(68)</sup> 貴島付属砲隊 <sup>(68)</sup> 佐土原 1小 佐土原 2小 高鍋 1小 高鍋 2小 熊本 1小半隊 <sup>(68)</sup> 熊本 3小 熊本 9小半隊 <sup>(68)</sup> 熊本 10小 <sup>(68)</sup> 熊本 11小 <sup>(68)</sup>	七本 七本柿木台場
			薩 3大 4小	轟村

3月16日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
谷より進み、栗ノ木平に 進撃 <sup>(69)</sup>		豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社		宮ノ原より押下し下射 <sup>(69)</sup>
田原坂本道第一線 田原坂本道第一線 田原坂本道第一線	近歩 1連 1大 1中 近歩 1連 1大 3中 近歩 1連 1大 4中	田原坂本道北側 一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
舟底村山腹 田原	大鎮 8連 3大 1中 熊鎮 14連 3大 3中 <sup>(70)</sup>	豊岡台地中央部 一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 2大 1小 薩 2大 2小 薩 2大 6小 薩 4大 7小 薩 5大 5小 薩 6大 6小	田原

			薩 6 大 7 小 貴島 2 小	
田原口 二俣口	第 1、2 旅団砲隊 (東豫砲 1 大、砲兵 4 大 2 小)	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口前面左側第一線 二俣口前面中央の第一線 二俣口前面中央の第一線 二俣口前面長窪村中間第一線 二俣口前面右翼 田原阜 二俣口前面右翼 田原阜 二俣口前面右翼 田原阜 二俣口前面右翼 二俣口前面右翼 七本口	大鎮 10 連 2 大 1 中 近歩 1 連 1 大 2 中 近歩 1 連 2 大 1 中 近歩 1 連 2 大 3 中 大鎮 8 連 3 大 2 中 大鎮 8 連 3 大 4 中 広鎮 11 連 2 大 2 中 広鎮 11 連 2 大 3 中 大鎮 8 連 3 大 3 中 熊鎮 14 連 2 大 4 中	豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯	薩 1 大 6 小 薩 1 大 8 小右半隊 薩 5 大 4 小 薩 6 大 2 小 薩 7 大 3 小 <sup>(71)</sup> 薩 7 大 10 小 <sup>(71)</sup> 薩 7 大 11 小 貴島 1 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小 高鍋 1 小 高鍋 2 小 熊本 1 小右半隊 <sup>(72)</sup> 熊本 3 小 熊本 7 小 薩 3 大 4 小	七本 轟村

3月17日

政府軍		推定戦闘地及び調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 内 2 個中隊を前面に増加し、左に方向を転じ田原坂の背面を襲う	近歩 1 連 2 大 4 中 近歩 1 連 1 大 3 中 (援隊) 大鎮 8 連 3 大 3 中	豊岡台地北部一帯 <b>調査地</b> 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側一帯 <b>調査地</b> みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
田原坂本道正面 山上に達し、塁で防戦 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道	近歩 1 連 1 大 1 中 <sup>(73)</sup> 近歩 1 連 1 大 3 中 警視抜刀隊 (川畑隊) 東鎮 3 連 3 大 1 中 熊鎮 14 連 3 大 1 中 熊鎮 14 連 3 大 4 中 近歩 1 連 1 大 4 中 <sup>(74)</sup>	田原坂本道北側一帯	薩 2 大 1 小 <sup>(76)</sup> 薩 4 大 7 小 <sup>(76)</sup>	田原坂北手ノ松山 田原坂北手ノ松山





二俣口前面中央 守兵	近歩 1 連 2 大 3 中 <sup>(84)</sup>		
二俣口前面中央 守兵	大鎮 8 連 3 大 2 中		
二俣口前面中央 守兵	大鎮 9 連 1 大 1 中		
二俣口前面中央 守兵	大鎮 9 連 3 大 2 中		
二俣口前面 守兵	近歩 1 連 1 大 2 中		
二俣口前面 守兵	近歩 1 連 2 大 1 中		
二俣口前面 守兵	近歩 1 連 2 大 4 中		
二俣口前面 守兵	東鎮 1 連 1 大 1 中		
二俣口前面 守兵	東鎮 1 連 1 大 2 中		
二俣口前面 守兵	大鎮 8 連 3 大 4 中		
二俣口前面 守兵	大鎮 9 連 2 大 2 中		
二俣口前面 守兵	大鎮 10 連 2 大 1 中		
二俣口前面 守兵	広鎮 11 連 2 大 3 中		
二俣口前面 守兵	広鎮 11 連 3 大 3 中		

3月19日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
水本、谷、岡林、北平等 にて数十度の戦争 <sup>(79)</sup>		豊岡台地北部一帯 <b>調査地</b> 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社		水本、谷、岡林、北平等 にて数十度の戦争 <sup>(79)</sup>
田原坂本道	近歩 1 連 1 大 4 中	田原坂本道北側 一帯 <b>調査地</b> みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
舟底村	近歩 1 連 1 大 1 中	豊岡台地中央部 一帯 <b>調査地</b> 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 2 大 1 小 薩 2 大 2 小 薩 2 大 6 小 薩 4 大 7 小 薩 5 大 5 小 薩 6 大 6 小 薩 6 大 7 小 薩 7 大 3 小 薩 7 大 10 小 貴島 2 小	田原
		豊岡台地南部一帯	薩 1 大 6 小 薩 5 大 4 小 薩 6 大 2 小 薩 7 大 11 小 貴島 1 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小	七本

			高鍋 1 小	
			高鍋 2 小	
			薩 3 大 4 小	轟村

3月20日

政府軍		推定戦闘地及び調査地	陸軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂口 田原坂口 田原坂口 田原坂口	近歩 1 連 1 大 3 中 広鎮 11 連 2 大 4 中 広鎮 11 連 3 大 1 中 広鎮 11 連 3 大 4 中	田原坂本道北側 一帯 <b>調査地</b> みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩 1 大 8 小 右半隊 薩 2 大 1 小 薩 4 大 7 小 薩 5 大 1 小 薩 5 大 5 小 薩 6 大 2 小 薩 7 大 6 小	田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道
舟底村から植木街道(本道)、 のち豊岡村駐屯	近歩 1 連 1 大 1 中 <sup>(87)</sup>	豊岡台地中央部 一帯 <b>調査地</b> 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 2 大 2 小 薩 2 大 6 小 薩 6 大 6 小 薩 6 大 7 小 薩 7 大 3 小 薩 7 大 10 小 貴島 2 小	田原
二俣 二俣、田原坂	東鎮豫砲 1 大 <sup>(88)</sup> 砲兵 4 大 2 小 <sup>(89)</sup>	豊岡台地北部一帯 <b>調査地</b> 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側 一帯 豊岡台地中央部 一帯 豊岡台地南部一帯		
前軍 先鋒 前軍 先鋒 前軍 先鋒 前軍 先鋒 前軍 先鋒 前軍 先鋒 前軍 先鋒 田原中央 援隊 左翼 左翼に付属 前軍 右翼 植木、向坂へ 七本/原台場、のち向坂へ 中軍 援隊 中軍 援隊 中軍 援隊 中軍 援隊 中軍 援隊	近歩 1 連 2 大 3 中 近歩 2 連 2 大 2 中 近歩 2 連 2 大 4 中 東鎮 3 連 3 大 2 中 大鎮 9 連 2 大 4 中 熊鎮 14 連 3 大 1 中 警視抜刀隊 1 小隊 (川畑) 熊鎮 14 連 2 大 4 中 熊鎮 14 連の 1 個中隊 大鎮工兵 2 大 <sup>(90)</sup> 近歩 1 連 1 大 2 中 <sup>(91)</sup> 近歩 1 連 2 大 3 中 <sup>(92)</sup> 東鎮 1 連 1 大 3 中 東鎮 1 連 1 大 4 中 東鎮 1 連 3 大 2 中 大鎮 8 連 3 大 1 中 大鎮 8 連 3 大 3 中 大鎮 10 連 2 大 4 中	豊岡台地南部一帯	薩 1 大 6 小 薩 5 大 4 小 薩 7 大 11 小 貴島 1 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小 高鍋 1 小 高鍋 2 小 薩 3 大 4 小	七本 轟村

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
中軍 援隊	警視抜刀隊 1 小隊 (上田)			
中軍、のち植木へ	近歩 1 連 1 大 4 中 <sup>(93)</sup>			
後軍 予備	近歩 1 連 1 大 4 中			
後軍 予備	近歩 1 連 2 大 1 中			
後軍 予備	近歩 1 連 2 大 2 中			
後軍 予備	近歩 1 連 2 大 4 中			
後軍 予備	大鎮 8 連 2 大 3 中			
後軍 予備	大鎮 9 連 1 大 2 中			
後軍 予備	大鎮 10 連 2 大 1 中			
後軍 予備	熊鎮 14 連 3 大 3 中			
第 3 旅団の援軍	熊鎮 14 連 1 大の右半大隊			

## 註

- (1) 陸上自衛隊北熊本修親会『新編西南戦史』1979年、220頁
- (2) アジア歴史資料センター、Ref. C09083506100「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第貳大隊第貳中隊」
- (3) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513300「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (4)、(5)、(6)、(7)、(9)、(12)、(18)、(19)、(23)、(24)、(29)、(47)、(59)、(68)、(71)、(76)、(77)、(85) 鈴木徳臣「田原坂三ノ坂における薩摩軍の配備状況」『熊本市の文化財第30集 田原坂Ⅲ』熊本市教育委員会 2013年、21～24頁、27頁
- (8)、(35)、(46)、(60)、(72)、(78)、(86) 宇野東風『硝煙弾雨 丁丑感舊録』丁丑感舊會、1928年、42～45頁、49～50頁、53頁
- (10)、(20)、(53)、(62)、(73)、(81)、(87) アジア歴史資料センター、Ref. C09083957400「近衛歩兵第一聯隊第一大隊第一中隊戦闘日記」
- (11) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513400、C09083513500「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (13)、(52)、(57) 黒龍会本部『西南記傳 中巻一』黒龍会本部、1909年、573頁、588頁、591頁
- (14) アジア歴史資料センター、Ref. C09083957400「近衛歩兵第一聯隊第一大隊第一中隊戦闘日記」。但し、『薩南血涙史』198頁では、「3月7日に田原八幡神社に火を放つ」となっている。
- (15)、(25)、(54)、(63)、(74)、(93) アジア歴史資料センター、Ref. C09083957600「戦闘景況 出征第二旅團近衛歩兵第一聯隊第一大隊第四中隊」
- (16) アジア歴史資料センター、Ref. C09083506300「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第貳大隊第貳中隊」
- (17) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513500「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (21) 加治木常樹『薩南血涙史』青潮社、1998年、「第八節二侯の戦」「第四編第一章木留方面」203頁
- (22)、(27) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513600「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (26)、(31)、(42)、(44)、(49)、(58)、(70) 日本史籍協會『熊本鎮臺戦闘日記二』財団法人東京大學出版會、1977年覆刻、77～79頁、83～85頁、91頁
- (28)、(41)、(45)、(51)、(65)、(75)、(84)、(92) アジア歴史資料センター、Ref. C09083963300「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第二大隊第三中隊」
- (30)、(38)、(43)、(80) 全国近歩一会『明治十年西南ノ役 近衛歩兵第一聯隊第一大隊戦闘日誌』1933年複写、1997年復刻、7～8頁、10頁

- (32)、(48)、(82)、(90) アジア歴史資料センター、Ref. C09083971300「西国征討記（大阪鎮台工兵第2大隊3分隊）」
- (33)、(37)、(40) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513700「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (34) 加治木常樹『薩南血涙史』青潮社、1998年、「第十節田原と横平山の戦」207、208頁
- (36) アジア歴史資料センター、Ref. C09083506600「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第貳大隊第貳中隊」
- (39)、(89) アジア歴史資料センター、Ref. C09084157900「(砲兵第四大隊第二小隊) 十年二月廿五日ヨリ同年六月廿二日ニ至ル全小隊日誌」
- (50) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513800「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (52)、(57) 黒龍会本部『西南記傳 中巻一』黒龍会本部、1909年、588頁、591頁
- (55)、(64) アジア歴史資料センター、Ref. C09083506800「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第貳大隊第貳中隊」
- (56)、(67)、(91) アジア歴史資料センター、Ref. C09083957500「戦闘景況書 近衛歩兵第一聯隊第一大隊第二中隊」
- (61)、(69)、(79) 植木町『西南の役田原坂資料集 歴史のはざまに』1990年、「戦地景況輯録」9頁
- (66) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513900「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (83) 日本史籍協會『西南戦闘日注並附録二』財団法人東京大學出版會、1884年発行、1977年覆刻、126頁
- (88) アジア歴史資料センター、Ref. C09083514200「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」

#### e. 戦死者数調査（第26表、第27表）

##### (1) 集計

戦死者数調査は、田原坂の戦いの3月4日～20日の期間と豊岡台地の戦場を主対象に行った。このため、玉名高瀬や木葉方面、山鹿菊池、吉次峠や木留方面などは含まない。戦死者数調査ではその場所や日時で主な戦闘地や戦闘日が推定でき、採集・出土した小銃弾などの遺物との関連をうかがい知ることができる。また、d. 調査地周辺における両軍の戦闘状況の推定と連動させるため、政府軍は中隊単位での戦闘地毎の戦死者数も一覧とした。

**政府軍** 戦死者数調査は数が明確な政府軍を主とし、『靖国神社忠魂史』第一巻第四編西南の役靖国神社編纂1935（1990青潮社復刻出版）から算出した。死亡場所が病院の場合は『西南の役植木地区における官薩両軍戦死者名簿』植木町1990で確認した。記載が「田原」だけの場合は田原坂や豊岡など広範囲にまたがるため、戦没者墓碑銘のうち主に高瀬官軍墓地、高月官軍墓地、宇蘇浦官軍墓地、久留米山川招魂社の名簿で確認した。ただし、福岡陸軍病院、長崎陸軍病院、大阪陸軍病院関係資料等は未確認である。

田原坂の戦いにおける戦死者数は、既に先学によって明らかにされている。中村稲男「田原坂戦における日時別、地名別戦死者数」「官薩両軍の死者とその行方」『西南の役田原坂資料集歴史のはざまに』植木町、勇知之「田原坂の戦い」『データでみる西南戦争』等である。今回の集計では政府軍1,385名だが、中村は1,318名、墓地計1,317名、忠魂社数1,529名で、勇は1,687名とした。数に相違があるが、これは田原坂の戦いの範囲や期間、戦傷者の後日病院死亡数などの認識の差、算出基準の差のためである。

**薩摩軍** 薩摩軍の戦死者数は現状では詳細を明らかにしえないが、表には『西南の役植木地区における官薩両軍戦死者名簿』から記した。氏名が判明しているのは計385名で、政府軍に比して少ない。中村は植木町域での氏名判明数507名、一方では伝聞も含めて2,432名としており、大きな違いがある。近年では友野春久「西南戦争薩軍戦没者一覧（一～四）」『敬天愛人』第32号～35号2014～2017（公財）西郷南洲顕彰会に戦没者数8,333名（重複者等含）が挙げられ、うち戦没地判明4,076名、うち熊本2,635名、うち田原・田原坂542名である。戦没地が判明したうちの6割以上が熊本で、その2割以上が田原・田原坂である。戦没地判明全体なら田原・田原坂での戦死は13.3%になる。

今後は、明確な基準をもとに算出した両軍の戦死者数調査が、重要な研究課題となろう。

(2) 部隊と戦死場所

部隊 政府軍の戦死者は多い順に、大阪鎮台 29 個中隊（砲兵工兵騎兵等含、以下同）600 名、近衛 15 個中隊 357 名、東京鎮台 12 個中隊 155 名、広島鎮台 7 個中隊 115 名、熊本鎮台 11 個中隊 95 名、警視局 55 名である。概算すると 1 個中隊単位では、近衛 23.8 名、大阪鎮台 20.7 名、広島鎮台 16.4 名、東京鎮台 12.9 名、熊本鎮台 8.6 名となり、近衛の戦死者が最多で大阪鎮台がこれに次ぐ。田原坂戦の主力は近衛と大阪鎮台だったようだ。

近衛は第一連隊第一大隊第一中隊、同第三中隊、第二連隊第一大隊第一中隊が戦死者 50 人近くであり、

第 26 表 地名、部隊別 政府軍戦死者数

(1)

地名	部隊																小計	東鎮 1 連 1 大 3 中	東鎮 1 連 1 大 4 中	東鎮 1 連 3 大 1 中	東鎮 1 連 3 大 2 中	東鎮 1 連 3 大 3 中	東鎮 1 連 3 大 4 中	東鎮 3 連 3 大 2 中	東鎮 豫砲 1 大	東鎮 豫砲 1 大 1 小	東鎮 豫砲 3 大 1 小	東鎮 工 1 大 2 小	東鎮 騎 1 大	小計
	近歩 1 連 1 大 1 中	近歩 1 連 1 大 2 中	近歩 1 連 1 大 3 中	近歩 1 連 1 大 4 中	近歩 1 連 2 大 1 中	近歩 1 連 2 大 2 中	近歩 1 連 2 大 3 中	近歩 1 連 2 大 4 中	近歩 1 連 2 大 1 中	近歩 1 連 2 大 2 中	近歩 1 連 2 大 3 中	近歩 1 連 2 大 4 中	近歩 1 連 2 大 1 中	近歩 1 連 2 大 2 中	近歩 1 連 2 大 3 中	近歩 1 連 2 大 4 中														
田原坂	43	14	42	5									45	7			156	7	3	11		5				1	1	1	1	30
田原	2		2	3			1			1	3						12		2	3	1	4						1		11
豊岡村																														
鈴麦村																														
舟底山													11				11													
立野山																														
橋木																														
瓶割坂																														
蜂別坂																														
七本																		1												1
轟村																														
二俣・二俣口		21	3	20	15	36	24	31	1					17	8	2	178		4	7	14	3	1	32	1	2		4	1	69
鉢割山																														
横平山																							23	16	1				4	44
計	45	35	47	28	15	36	25	31	1	1	48	18	17	8	2	357	8	9	21	15	35	17	33	1	3	1	10	2	155	

文献調査

第 27 表 地名、日付別 戦死者数一覧

(政府軍)

地名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
田原坂	30	4	65	137	35	50	45		7	13	17	56	16		36		511	
田原	4		5	15	7	12	9		5	1	7	5			12		82	
豊岡村	1	1	1														3	
鈴麦村	1						3		1				1				6	
舟底山	6		1	4	1						16						28	
立野山										1							1	
橋木											1	1					2	
瓶割坂				1													1	
蜂別坂											4						4	
七本											6			2	8	2	18	
轟村																1	1	
二俣口・二俣	4	15	8	4	49	16	49	12	157	35	40	75	84				548	
鉢割山										8							8	
横平山							9	1		160	2						172	
計	46	20	80	161	92	78	115	27	177	248	107	99	135				1,385	

※他に日付不明 12 名。(薩摩軍)

田原坂	14	3	22	16	11	25	7	69	23	3	42	40	8	23	38	4	6	354
七本	1				1				1		2	22		2	1		1	31
計	15	3	22	16	12	25	7	69	24	3	44	62	8	25	39	4	7	385

薩摩軍戦死者数は、『西南の役植木地区における官薩両軍戦死者名簿』『田原坂・植木の戦い薩軍関係戦死者名簿』をもとに作成した。

負傷者も入れると、『征西戦記稿』付録旅団編成表では第一連隊第一大隊 811 名 1 個中隊平均 203 名なので、約半数が田原坂本道付近の戦いの 17 日間で戦死傷者になったことになる。

大阪鎮台は第八連隊第三大隊第二中隊と同第四中隊が二俣・二俣口で、第九連隊第一大隊第二中隊と第二大隊第二中隊が田原坂本道付近の戦いで戦死者 50 名程度の大きな損害を出している。第八連隊第三大隊は 666 名 1 個中隊平均 167 名なので、6 割程度が戦死傷者になったことになる。また、大阪鎮台は横平山 171 名中 100 名を第九連隊と第十連隊が占める。

戦死場所 政府軍の戦死場所は豊岡台地北部の舟底山、田原坂、田原周辺が 630 名、南部の七本、二俣・二俣口周辺が 567 名と抜きんでており、この 2 か所が田原坂の戦いの主戦場であったことがわかる。

(2)

部隊	地名																				小計												
	大鎮 8 連 2 大 1 中	大鎮 8 連 2 大 2 中	大鎮 8 連 2 大 3 中	大鎮 8 連 2 大 4 中	大鎮 8 連 3 大 1 中	大鎮 8 連 3 大 2 中	大鎮 8 連 3 大 3 中	大鎮 8 連 3 大 4 中	大鎮 9 連 1 大 1 中	大鎮 9 連 1 大 2 中	大鎮 9 連 1 大 3 中	大鎮 9 連 1 大 4 中	大鎮 9 連 2 大 1 中	大鎮 9 連 2 大 2 中	大鎮 9 連 2 大 3 中	大鎮 9 連 2 大 4 中	大鎮 9 連 2 大 3 中	大鎮 9 連 2 大 4 中	大鎮 9 連 3 大 2 中	大鎮 9 連 3 大 2 中		大鎮 10 連 1 大 1 中	大鎮 10 連 2 大 1 中	大鎮 10 連 2 大 2 中	大鎮 10 連 2 大 3 中	大鎮 10 連 2 大 4 中	大鎮 10 連 2 大 3 中	大鎮 10 連 2 大 4 中	大鎮 砲 4 大	大鎮 砲 4 大 2 小	大鎮 砲 4 大 2 小	大鎮 工 2 大 2 中	大鎮 工 2 大 2 中
田原坂	16		11		3				22	40	23	9	6	38	36	1	2									1	10		3		5	2	228
田原	3			1					4	7	4	3	4	8			1										8						43
豊岡村																																	
鈴麦村																																	
舟底山																			16									1					17
立野山																																	
橘木																																	
瓶割坂														1																			1
蜂別坂																																	
七本																																	
轟村			1																														1
二俣・二俣口		5	2	5		53	39	53				1	1								11	36				1			1		1	209	
鉢割山																																	
横平山				2												35										40	24						101
計	19	5	14	8	3	53	39	53	26	47	27	12	11	48	36	36	3	16	11	36	40	25	19	1	3	1	5	2	1	600			

(3)

部隊	地名																	警視局	教導団歩 2 大 3 中	輜重部	小計	合計			
	広鎮 11 連 1 大 3 中	広鎮 11 連 2 大 3 中	広鎮 11 連 2 大 4 中	広鎮 11 連 2 大 4 中	広鎮 11 連 3 大 1 中	広鎮 11 連 3 大 3 中	広鎮 11 連 3 大 4 中	小計	熊鎮 13 連 1 大 2 中	熊鎮 13 連 3 大 3 中	熊鎮 13 連 3 大 4 中	熊鎮 14 連 1 大 1 中	熊鎮 14 連 2 大 2 中	熊鎮 14 連 2 大 3 中	熊鎮 14 連 2 大 4 中	熊鎮 14 連 3 大 1 中	熊鎮 14 連 3 大 3 中						熊鎮 14 連 3 大 4 中	小計	
田原坂	1	20	7	1	10	1	13	53	1	1			6			11	2		3	24	16	1	3	20	511
田原		4	3	1	1	2	2	13							1					1	2			2	82
豊岡村													1		2					3					3
鈴麦村					2			2						3	1					4					6
舟底山																									28
立野山		1						1																	1
橘木																		2		2					2
瓶割坂																									1
蜂別坂																				4					4
七本											1				11					12	5			5	18
轟村																									1
二俣・二俣口		11				33	1	45			2		6	3	14		1	1	1	28	15		4	19	548
鉢割山																				8					8
横平山					1			1					9							9	17				17
計	1	36	10	2	13	37	16	115	1	1	2	1	22	6	28	12	15	3	4	95	55	1	7	63	1,385

